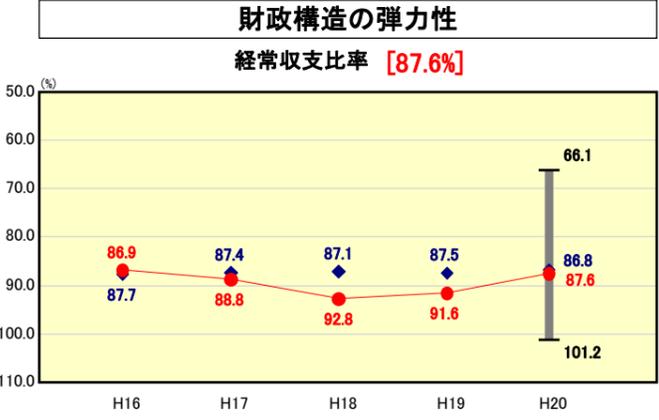
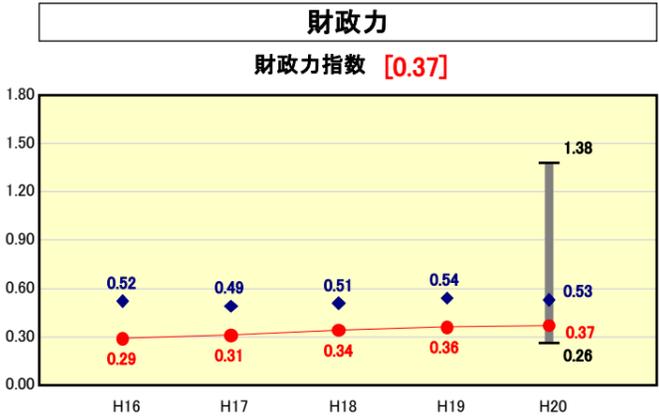


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

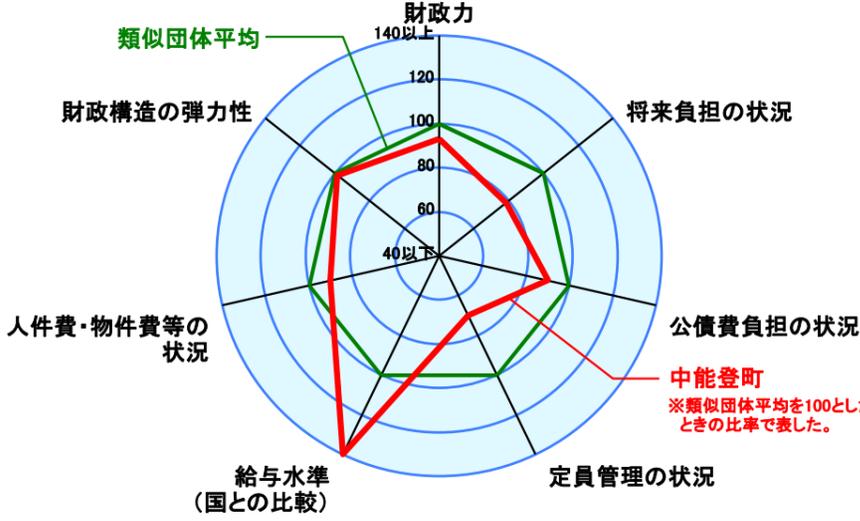
財政力指数：
人口減少や基幹産業である繊維産業の不振等により、財政基盤が弱く類似団体平均をかなり下回っている。平成17年3月1日合併により中能登町となったが、今後は活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

経常収支比率：
前年よりも減少しているが、今後も事務事業の見直しを進めるとともに、すべての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業について必要性、有効性、事業効果を点検し、計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

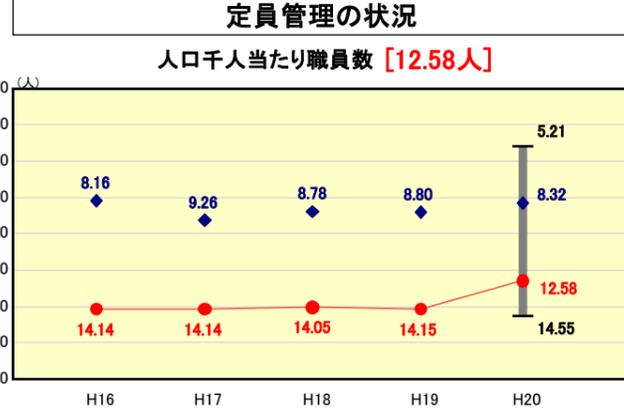
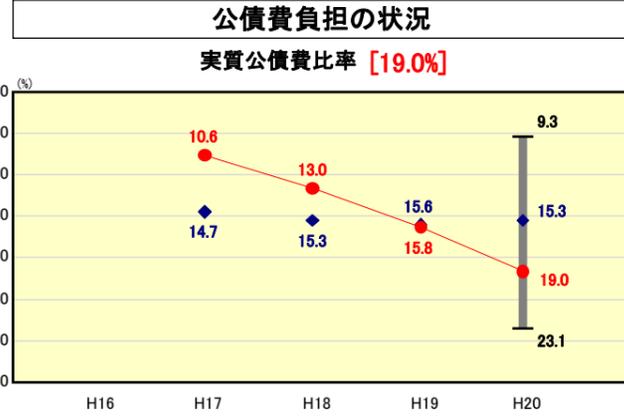
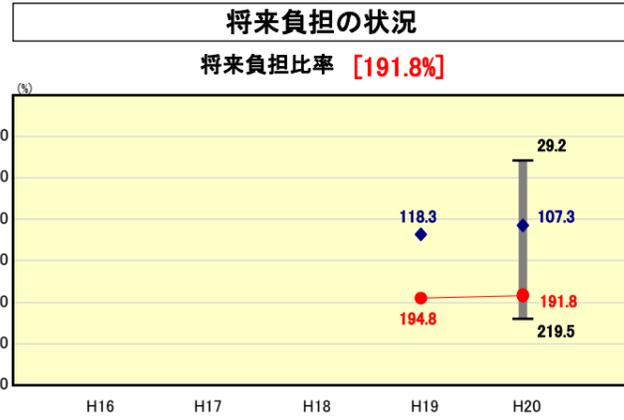
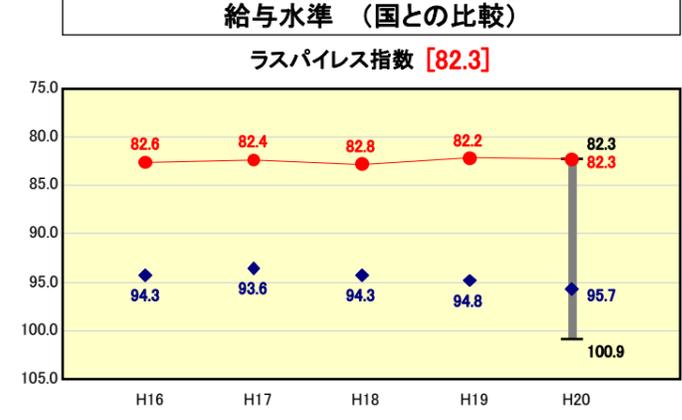
ラスパイレス指数：
類似団体の中では最低水準ではあるが、今後も一層の給与の適正化に努める。

実質公債費比率：
平成20年度から実質公債費比率が18.0%を超え、団体平均を上回っている。今後も統合中学校建設等の大型事業も控えているが、既発債の償還完了もあり、概ね横ばいの状況が続く見込みである。今後は新規地方債の借入に際しては財源措置の高いものの借入に努め、また、資本費平準化債の発行により下水道事業特別会計への繰出しを抑制し財政の健全化を図る。

人口	19,712	人(H21.3.31現在)
面積	89.36	km ²
標準財政規模	6,439,543	千円
歳入総額	9,580,624	千円
歳出総額	9,439,487	千円
実質収支	47,827	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



類似団体内順位 33/35
全国市町村平均 100.9
石川県市町村平均 148.1

類似団体内順位 27/35
全国市町村平均 11.8
石川県市町村平均 14.5

類似団体内順位 34/35
全国市町村平均 7.46
石川県市町村平均 7.71